

Murata Philosophy

グローバルに共有する、
ありがたい姿、感謝の気持ち。



社是

技術を練磨し
科学的管理を実践し
独自の製品を供給して
文化の発展に貢献し
信用の蓄積につとめ
会社の発展と
協力者の共栄をはかり
これをよるこび
感謝する人びと
ともに運営する

モバイルから次の成長分野へ、自ら市場を創出する。

ムラタでは、ありがたい姿を「コーポレートブランドデザイン」としてまとめています。その実現のための戦略となる「中期構想」は2013年度からスタートし、3年目の2015年度が最終年度となります。モバイル通信をはじめとしたムラタが得意とする市場へのさらなる価値提供に加え、次の成長市場として注力している自動車、エネルギー、ヘルスケア・メディカル分野においても、自ら市場を創っていく意気込みでチャレンジして参ります。

お客様と共に、パートナーと共に、新たな価値提案へ。

ムラタはコンデンサに代表される汎用部品、様々な新しいデバイス、モジュールの提供でビジネスを拡大して参りました。今後も、新しく習得した外部の技術を含め、これまでの経験を通して新しい価値を生み出していく意気込みです。例えば、少しずつ普及し始めているIoT*においても、ムラタの豊富な知識と技術を生かし、お客様と共に最先端の商品作りをしていく気概を持って取組んで参ります。

1兆円達成をステップに、さらにムラタらしく。

2014年度、ムラタは売上高が1兆円を超える企業に成長しました。これはひとえにお客様をはじめ、様々なステークホルダーのみなさまからのご支援とご指導の賜物と厚くお礼申し上げます。「協力者の共栄をはかり これをよるこび感謝する人びととともに運営する」。常に私たちの判断、行動の軸としてきた「社是」の一節を改めて深くかみしめ、新しい価値提供への挑戦を続けていきます。ムラタを取り巻く環境は常に大きく変化しますが、社是に込められた想いは変わることはありません。ムラタではこれからもグローバルのメンバー全員で感謝の気持ちを持ちながら、「Innovator in Electronics®」として企業の社会的責任(CSR)を果たし、社会の発展に貢献して参ります。

代表取締役社長 村田恒夫